

50th
Anniversary



たんぽぽ



50周年記念



渡邊君全国3大会で優勝!! (P6)

【少年男子スプリント・カナディアンシングル決勝】力強いレース運びで優勝を果たした高知・渡辺和信(伊佐市立明徳義塾中)の勝利瞬間



渡辺 全力のこぎで圧勝

有言実行 2冠督う

【高知新聞】「カヌー」の部では、男子スプリント・カナディアンシングル決勝で、高知市立明徳義塾中の渡辺和信選手が、力強いレース運びで優勝を果たした。渡辺選手は、この大会で2冠を達成した。

渡辺選手は、この大会で2冠を達成した。渡辺選手は、この大会で2冠を達成した。渡辺選手は、この大会で2冠を達成した。

高知新聞
2023年10月15日掲載





記念祝賀会

記念式典終了後は、研修会館で祝賀会が行われました。寄本宏明校長からは 50 周年の記念行事（和太鼓海外ツアー・高校野球招待試合・国際体育祭・大同窓会）を 1 年間通して行ってきた、無事に本日式典の日を迎えられたことに感謝するとともに今後ますます向上していくよう取り組んでいくことを約束しました。会では、明德にゆかりのある方 50 人のインタビュービデオやまぐる解体ショーなどが行われました。その後、海外 5 か国からお越しいただいたご来賓の方々からプレゼントとメッセージをいただきました。また、これまで本校に多大なご支援をいただいたフジパスク株式会社村上上人会長や本校 50 周年記念事業にご賛同いただいた方々を代表して松田医薬品株式会社松田康弘代表取締役社長に感謝状が贈られました。終わりに本校理事の春田正一様より 50 周年に至るまでの先人の教えや言葉、また 100 周年に向けて進化発展することを誓います。と結びの言葉を述べられました。ご参列いただきました皆様、そのほか 50 周年を迎えるまでにご協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。



創立50周年記念式典

明德義塾中学・高等学校「創立 50 周年式典」が 11 月 4 日、本校体育館で濱田省司高知県知事（代理岡村昭一様）、学校法人廣池学園・廣池幹堂理事長、板原啓文土佐市長、楠瀬耕作須崎市長、地元の国会議員・県議会議員、海外姉妹校の先生方や教育関係者ら約 100 人のご来賓を迎え、全校生徒・教職員も参加して盛大に挙行されました。学校を代表して吉田圭一塾長がこれまで支えていただいた全ての方への感謝を伝えました。開校当時から現在に至るまでの歩みと今後 100 周年



明德神社新神殿完成

長年にわたり私たちをお守りいただいている明德神社の御神殿がこのほど完成し、落成式が 10 月 3 日執り行われました。塾長、校長、教頭と代表生徒が参列し新神殿の完成を祝うとともに明德神社の伝統を守り伝えていく決意を新たにしました。明德神社は、開校当時に創建されていて老朽化が進んでいたため、50 周年の今年新たに建て替えることとなりました。



国際体育祭

4 年ぶりに生徒全員と保護者がそろった体育祭が 10 月 6 日、堂ノ浦キャンパスグラウンドで行われました。今年の創立 50 周年を記念する国際体育祭には、オーストラリアから 3 校の姉妹校が参加してくれ、秋晴れの下、生徒たちの楽しそうな声が学校中に響き渡っていました。閉会式では寄本校長が「クラス、クラブ、国籍、それを超えた歴史に残る素晴らしい国際体育祭になりました。たくさんのエネルギーと笑顔がありがとう」と締めくくりました。

大同窓会

10 月 7 日、高知市の土佐御苑で開校 50 周年記念大同窓会が行われました。参加者は 1 期生から 41 期生までの 150 人と教職員や教職員 OB も参加してくれました。本会場以外にも展示会場を構え、各クラブの功績である日本一の旗や盾、メダルなどを展示、そのほかにも歴代の卒業アルバムや書籍もあり、参加した方は過去を振り返り、大いに盛り上がっていました。



馬淵監督、寺地くん世界一!!



台湾で8月31日から9月10日に行われた第31回 WBSC U-18 ベースボールワールドカップで高校日本代表が悲願の**初優勝**を果たしました。監督として指揮を執ったのは本校野球部の馬淵士郎監督。一番バッテリーとして出場した寺地隆成くん(6年B組)は、選手として金メダル獲得に大いに貢献しました。

寺地くん、ロツテから5位指名

プロ野球のドラフト会議が10月26日行われ、本校高校野球部の寺地隆成くんが千葉ロッテマリーンズから5位指名されました。寺地くんは「指名されたときはうれしすぎて飛び跳ねました。友だちと一緒に飛び跳ねてハグして喜んでくれました。目標は、アベレージを残せる選手になることです。先生方や18年育ててくれた両親にもまずは「ありがとう」と言いたいです。まだまだ長い道のりにはなと思うけど、しっかり頑張っ



姉妹校から短期留学生

オーストラリアの姉妹校ヘイルスクールから10人が9月25日から10月26日まで短期留学に来ました。体育祭や日本語の授業、高知の観光名所などをめぐりました。また同じくオーストラリアの姉妹校イマニエルアングリカンカレッジから14人、The Armidale Schoolから20人の生徒が10月に来校し、体育祭に参加しました。11月20日から12月15日までPLC(プレスベテリアンレディースカレッジ)から10人の生徒が来校し、日本語の授業や高知観光、明德生とも交流をするなど短期留学を楽しみました。



中学3年短期留学

中学3年生13人が11月26日から12月15日まで、オーストラリアに短期留学に行きました。現地では、語学研修はもちろん姉妹校で交流をしたり、観光も楽しみました。



姉妹校台湾樹人へ交換留学

台湾の姉妹校樹人医護管理専科学校へ4年英語コースの川村環さんが11月27日から12月16日まで留学に行きました。この交換留学は、双方の言語、文化、風習等の認識を深め、国際社会を担う広い見識と優れた人間性を身に付けることを目的としています。川村さんは、言葉も文化も分からないけどそこから学べることがあると志願してくれました。1月には樹人医護管理専科学校から短期留学生が来校します。



留学生入学式

10月20日、本校体育館で留学生入学式が行われました。今年の10月入学生は、中国・モンゴル・ベトナム・台湾・韓国・タイ・メキシコから合わせて99名です。新入生を代表してキョイクホウ君が「みなさんは目標をもって明德に来たと思います。目標を忘れずに一緒に進んでいきましょう。これからは親元を離れて自立しなければなりません。一人前になれるよう自分を磨きます。明德での生活は私たちに



「奥四万十観光大使」委嘱状交付式

奥四万十高知留学生インバウンド観光大使事業として、昨年より11人の本校留学生が、奥四万十(5つの市町)の文化、娯楽、おいしい食べ物などの研修を重ねてきました。9月16日、委嘱状交付式が行われ奥四万十高知代表の池田三男津野町長らが来校しました。池田町長から「奥四万十には、カツオの薫焼き、久礼のカゴ漁、ブルーベリー摘み、紙漉き、森林アクティビティなどたくさんの魅力がありますので、世界から呼び込みたい気持ちでおります。大使の皆さんにおかれましては、海外の知人など多くの方に、今回研修された素晴らしい体験をお伝えいただきたい」とお話がありました。委嘱された11名の観光大使を代表して、カクシテツさん(6年C組)「奥四万十はきれいな所で、研修を重ねるたびに、優しい人々と、新たな魅力がわかりました。きっと中国に伝えます。そして大学に進学しても友人に伝えて奥四万十の魅力を広げたいです。これからも大使として活躍して頑張ります」と抱負と意気込みを述べました。



6年生「いのちのレッスン」

9月25日6年生を対象とした、いのちのレッスン「救急法」～心肺蘇生とAEDの使い方～が日本赤十字社の講師の方々を招いて行われました。まずはじめに校長先生から自身の体験で、トラックの横転事故に遭遇したが何もできなかった、そういう時に命を救えるように救急法の知識を身につけることが大切だとされました。スクールカウンセラーの上河先生からは、「愛」の反対語は何かという問いを生徒たちに投げかけ、マザーテレサの言葉である「愛の反対は憎しみではない。無関心だ」という言葉を教えていただき、事故に遭遇した時や困っている人がいた時に無関心にならず、助けられる人にならなければならないというお話がありました。救急法の講義では一次救命処置である心肺蘇生法とAEDの使用方法について勉強しました。119番通報や協力者を求めること、胸骨圧迫の方法やリズム・時間を人形を使って体験しました。その後、服を着た人形を使って胸骨圧迫からAEDを使用する流れを確認し、実習しました。生徒たちは、「胸骨圧迫体験をした3分間がとても長く感じました。ドラマやテレビでは当たり前のように見ていましたが、実際にやってみるとかなりしんどかったです」「心肺蘇生法やAEDの使い方だけでなく、死戦期呼吸といった専門的な知識も学ぶことができたので、今後、人の命を左右する場面に出会った時に今日の講義を思い出して、適切に行動したいと思いました」と話していました。



防災避難訓練

11月8日、堂ノ浦キャンパスにて防災避難訓練を行いました。大地震を想定した訓練では避難場所へ移動し、初期消火体験・救急患者搬送体験・煙体験を行いました。南海トラフ地震に対する危機意識が高まりました。実際に起こった際には冷静に対応することが求められます。



中学3年修学旅行

中学3年生52人が11月20日から11月22日まで関西へ修学旅行に行ってきました。1日目は金閣寺や清水寺を観光しました。2日目にはユニバーサルスタジオジャパン、最終日は、ノエビアスタジアム神戸で記念撮影など楽しみました。



遠足

11月22日、中学1年生と2年生はのいち動物公園、総合4年生と5年生は桂浜と高知城、竜キャンパス4年生とPLCの留学生は大豊ゆとりすとパーク、竜キャンパス5年生は鷺羽山ハイランド、日本語コース4年生、5年生は海洋堂スペースファクトリーなんこく、10月入学の留学生は龍河洞、6年生は全員でレオマワールドへ遠足に行きました。



芋掘り

11月9日の5.6時間目に竜キャンパスの中学生全員で芋掘りをしました。6月の苗植えから5ヶ月、水やり、雑草を刈り、命を育てることに苦労を少しずつ感じる事ができました。前年同様たくさんの芋を収穫しました。



高知県高校生津波サミット参加

11月11日に高知県立福祉交流プラザにおいて「令和5年度高知県高校生津波サミット報告会」が行われ、竜キャンパス防災委員から堀部葵さん(5年特進I)、濱田祐輝くん(5年特進I)、西田有唯那さん(5年中国語)、吉田潤生くん(4年特進)、川村環さん(4年英語)が参加し今年度の活動報告を発表しました。発表の他にも東日本大震災を経験された方の講演や他の学校とのグループワークもあり、たいへん意義深い内容でした。参加した5名もそれぞれに防災に対しての意識を高め、明德の生徒や教職員にも今日学んだことを伝えていきたいと話していました。翌日12日(日)の「高知新聞」に明德竜キャンパスの防災活動報告が紹介されました。



ソフトテニス部県勢初!!

- ・全国中学校体育大会 3位
福見優心くん (3年2組)
林寿季稀くん (2年2組) ペア



【第35回ヨネックス杯中四国中学生ソフトテニス大会 団体 優勝】
(9月18日 / 広島県尾道市びんご運動公園テニスコート)
【団体メンバー】

添田玲音 (2年2組)・林寿季稀 (2年2組)・柴崎雄斗 (1年2組)・大平庚真 (1年1組)・田代恭太郎 (1年2組)・宮武伊織 (1年2組)・市野燦汰 (1年1組)・尾鼻珠吏 (1年2組)・福見哉太 (1年2組)

ゴルフ部

- ・ゴルフ四国ジュニア (10月22日 / 高松CC)
【中学女子】
優勝 森本寿叶 (2年1組) 77(36・41)
9位 佐藤梨乃 (3年1組) 86(40・46)
【高校女子】
準優勝 佐藤小洛 (4年英語) 70(36・34)
8位 中村巴南 (5年D組) 78(38・40)
【中学男子】
3位 佐賀野祐生 (3年2組) 75(33・42)
4位 尹 大治 (3年2組) 76(38・38)



NIPPON クラブ

- ・全国高校花いけバトル四国大会
9月17日(日)全国高校生花いけバトル四国大会が、高知県立追手前高等学校、芸術ホールにて開催され、本校よりNIPPONクラブの生徒3チーム、6名が出場しました。どのチームも入賞には至りませんでしたが、リュウウジョウくん(5年特進II)、ウコウヨウくん(5年特進II)のチームは予選を最高スコアで通過し、準決勝へ進みました。
生徒達は日頃の練習の成果が十分に発揮でき、悔しい中にも達成感を感じることでできた大会となりました。



バスケ3×3

- ・バスケ第10回3×3日本選手権高知県予選大会 (9月30日、10月1日) **優勝**
同大会西日本エリア大会 (11月25日 / 広島県マエダハウジング東区スポーツセンター) でも勝ち進み、第10回3X3 U18日本選手権大会 (12月9日、10日 / 東京都森ベルポート) に出場しました。
岡林蒼 (4年特進)・安宅凰太郎 (4年C組)・清水輝大 (4年C組)・中西蓮獅 (4年D組)



バレーボール部

- ・全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会 四国ブロック推薦選考会 (11月26日 / 徳島県池田総合体育館)
準優勝
1回戦 VS 英明 2-0 (25-15、25-17)
準決勝 VS 高知学園 2-1 (20-25、25-12、26-24)
決勝 VS 今治精華 1-2 (21-25、25-22、21-25)
第29回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会 (さくらバレー) (2024年3月26日～3月29日 / 東京) に出場します。



カヌー部全国制覇!!

- ・全国高校総体
(8月6日 / 山形県西川町月山湖カヌースプリント競技場)
男子スプリントカナディアンペア **優勝**
下元悠太郎 (6年D組)・渡邊裕征 (6年C組)
・第19回日本カヌースプリントジュニア・ユース小松大会
(9月5日～10日 / 石川県小松市木場潟カヌー競技場)
男子カナディアン500mと200m競技 **優勝**
渡邊裕征
・国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」
(10月13日～16日 / 鹿児島県伊佐市菱刈カヌー競技場)
少年男子カナディアン500mと200m競技 **優勝**
渡邊裕征



卓球部中高男女大活躍

- ・全日本選手権カデット
(11月3日～5日 / 徳島県鳴門アミノバリューホール)
女子14歳以下シングルス **優勝** 吉田璃乃 (2年1組)
男子13歳以下シングルス **準優勝** 柳本進太郎 (1年2組)
女子14歳以下ダブルス **3位** 駒瀬あゆみ (2年1組) 吉田璃乃 ペア
男子13歳以下ダブルス **ベスト8** 青井優空 (1年2組)・柳本進太郎
・全国高校総体女子 団体 **準優勝**
・全国中学校体育大会男子 団体 **3位**



高知新聞 2023年8月26日掲載

ソフトボール部 大健闘!!

- ・全国高校総体 **3位**



空手部 全国大会で好成績

- ・日本武道振興会
チャンピオンカップ選抜指定大会
(8月12日 / 大阪府守口市体育館)
中学1年男子54キロ以上
伊勢田武典 (1年1組) **準優勝**
・全日本空手道連盟剛柔会
第49回全国空手道選手権大会
(8月19日、20日 / エディオンアリーナ大阪)
少年女子形 (18歳以下)
宮地琉樺 (5年C組) **準優勝**
中学生女子形
伊藤椿姫 (2年2組) **準優勝**
・第2回JKKF
日本硬式空手全日本選手権大会
(9月3日 / 国立代々木競技場第2体育館)
一般男子有段65キロ未満級
毛利彪史 (5年D組) **3位**



中学・高校空手部全国へ!!

・県中学選手権兼全国選抜大会予選
(11月4日 / 県立武道館)

【団体組手】

優勝 男子明德義塾 A

優勝 女子

【男子組手個人】

2年 川島海二 (2年2組)

3年 辻岡季也 (3年2組)

【女子組手個人】

1年 加島陽桜莉 (1年1組)

2年 須恵みゆう (2年2組)

横山仁子 (2年2組)

3年 竹内実麻 (3年2組)

【形個人】

3年 清水一樹 (3年2組)

池 巧 (3年2組)

安岡煌人 (3年1組)

2年 伊東椿姫 (2年2組)

1年 加島陽桜莉 (1年1組)

準優勝

優勝

準優勝

準優勝

第3位

準優勝

優勝

第3位

第4位

準優勝

第4位

・県高等学校空手冬季大会
(全国選抜大会県予選)
(11月3日 / 県立武道館)

【団体組手】

優勝 男子

優勝 女子

【団体形】

優勝 男子

【男子個人形】

内藤 新 (5年C組) **準優勝**

長谷川義仁 (5年C組) **第3位**

【男子個人組手】

55キロ級 三宮鉄幹 (5年特進I)

長谷川義仁

61キロ級 孫田 空 (5年特進I)

68キロ級 毛利彪史 (5年D組)

植本 樹 (4年C組)

76キロ級 仲村玲星 (4年C組)

馬場凰貴 (5年C組)

統合戦 (全国選抜出場枠決定戦)

毛利彪史 **優勝** * 出場決定

仲村玲星 **第3位**

【女子個人組手】

53キロ級 浜田聖菜 (4年特進)

横田幸来 (5年C組)

59キロ級 宮地琉樺 (5年C組)

浜田新菜 (4年特進)

66キロ級 西田有唯那 (5年中国語)

統合戦 (全国選抜出場枠決定戦)

浜田聖菜 **優勝** * 出場決定

宮地琉樺 **準優勝**

西田有唯那 **第3位**



相撲部大活躍

・高知県高校相撲選手権大会
(9月9日 / 高知市営相撲場)

【団体】 3人制 **優勝**

5人制 **優勝**

【個人】

優勝 ブヤントグトフ (5年C組)

準優勝 砂坂有哉 (5年C組)

・高校冬季大会兼選抜選考会

(11月19日 / 赤岡ドーム)

【団体】 **優勝**

100kg **優勝** 北川亜州佳 (5年D組)

(全国選抜大会に出場 2024年3月16

日、17日 / 春野相撲場)

冬季大会個人 **優勝** ブヤントグトフ

準優勝 砂坂有哉

・県中学相撲選手権

(11月5日 / 宇佐黒潮相撲場)

【個人】

優勝 アナンドアディテヤ

・県中学冬季大会

(11月14日赤岡ドーム)

【団体】 **準優勝**

【個人】 **優勝** アナンドアディテヤ

【学年別】

2年生 **優勝** アナンドアディテヤ

第3位 坂本脩 (2年1組)



県展で美術部入選

第77回高知県美術展覧会が10月7日から22日に高知市文化プラザ
かるぽーとで行われグラフィックデザインの部で入選しました。

「あたまの中」 ルジラポーン・プリヤポング (4年日本語Ⅱ)

「大夢敦煌」 鄭 皓文 (4年日本語Ⅱ)

和太鼓部最優秀賞受賞!!

第46回高知県高等学校
総合文化祭郷土芸能部門
が11月18日、かるぽー
とで行われ、和太鼓部が
最優秀賞を受賞しまし
た。和太鼓部は来年8
月岐阜県で行われる全
国高等学校総合文化祭
に出場します。



NIPPON クラブ

第25回高知県高
等学校郷土芸能
大会 (11月18
日 / 高知市かる
ぽーと) 2024年
夏岐阜県で行わ
れる全国大会の
出場権を獲得し
ました。



ソフトテニス部、中高大活躍!!

・高知県中学校ソフトテニス冬季大会
(11月4日、5日 / 高知市東部運動場テニスコート)

男子団体個人 **優勝**

男子団体戦 **優勝**

【個人戦】

優勝 添田玲音・林寿李稀

準優勝 柴崎雄斗・大平庚真

第3位 尾鼻珠吏・福見哉太

第3位 田代恭太郎・宮武伊織



・高知県高等学校ソフトテニス冬季季大会
(11月18日、19日 / 高知市東部運動場テニスコート)

男子団体 **優勝**

女子団体 **優勝**

男子個人

優勝 福島惇 (4年特進)・加藤歓基 (4年特進)

準優勝 三田勇人 (4年C組)・木本琉偉 (4年特進)

第3位 片岡柁人 (5年特進I)・福見竜也 (5年特進I)

第3位 池畠優良 (4年特進)・津野航 (5年特進I組)

女子個人

優勝 東 葵葉 (5年D組)・上田 椿 (4年特進)

準優勝 高橋美結 (5年D組)・湊本愛華 (5年D組)



県中学サッカー選手権優勝



・第30回県中学サッカー選手権 **優勝**
(11月4日 / 春野総合運動公園)

【優秀選手】

澳本一龍 (3年2組)・田島一輝

(3年2組)・時久弓槻 (3年2組)・

家石 匠 (3年2組)・小森 成

(3年2組)

カヌー部

・県高等学校カヌー秋季大会
(9月3日 / 坂内カヌー場)

女子カナディアンシングル500m

優勝 小原彩香 (5年D組)

男子カヤックシングル500m

優勝 堅田一成 (4年特進)

男子カヤックペア500m

優勝 渡邊翼空 (4年C組)・堅田一成

男子カヤックフォア500m

準優勝 堅田一成・渡邊翼空・澤田琢磨 (5年特進I)・羅浩仁 (4年日本語I)

男子学校対抗 **準優勝**



ソフトボール部
秋季大会初優勝!!

・ソフトボール高知県秋季大会
(10月1日 / 県青少年センター) **優勝**



高校柔道部28年ぶり2度目の優勝

・柔道県高校新人大会
(11月5日 / 県立武道館)

【団体】 **優勝**

【個人】

73キロ級 石崎 大雅 (5年C組) **優勝**

81キロ級 スクバット エンフオチラル

(4年日本語Ⅱ) **優勝**

100キロ級 野口 侑真 (4年C組) **優勝**

66キロ級 福田 陽大 (5年C組) **準優勝**

中学柔道部2年連続優勝!!

柔道県中学選手権
(10月1日 / 県立武道館)

【団体】 **優勝**

【個人】

66キロ級 泥谷 洋助 (3年2組) **優勝**

73キロ級 國澤 天晴 (3年2組) **優勝**

90キロ級 岡林 大翔 (2年1組) **準優勝**

90キロ超級 ウリンソルモン マンドール (1年2組) 4位





連続殺人鬼カエル男

(著:中山七里/宝島社)

6年C組/山本 凱斗 (高知県出身)

口にフックをかけられ、マンション13階からぶら下げられた女性の全裸死体。傍には子供が書いたような稚拙な犯行声明文。これが「カエル男」による最初の犯行だった。

警察は、この猟奇的な殺人事件を解決すべく捜査を進めるが、なかなか進展しない。そんな状況の中、第二、第三と立て続けに殺人事件が発生。その死体の傍には子供が書いたような稚拙な犯行声明文があった。

無秩序に猟奇的殺人を繰り返し続けるカエル男に、解決を急ぎ焦燥に駆られる警察、怯える住民、煽るマスコミと状況はますます混沌を極めた。

果たしてカエル男の正体とは?目的とは?

警察はカエル男をとめることができるのか。被疑者の責任能力を問う刑法三十九条を描く怒涛のサイコ・サスペンスここにあり。

そして手に汗握る衝撃的な結末にページをめくる手がとまらない。是非、手にとって読んでみて下さい。



ストロベリームーン

(著:芥川なお/すばる舎)

6年B組/吉田 龍生 (高知県出身)

この本は、主人公の佐藤日向と彼女の桜井萌を中心に進んでいく純愛小説です。物語は主人公が高校の入学式に遅刻して、学校の中に一人である所から始まります。偶然同じタイミングで遅れてきた彼女と出会い、そこから恋愛に発展していきます。そして書名になっている「ストロベリームーン」を満月の日に見に行き、幸せな時間が過ぎていきますが、萌に残された時間が少ないことに日向が気づき、ここから物語は急展開していきます。

中盤にかけては、高校生が一度は憧れるような恋愛物語になっており、特に主人公の日向が萌のことをどれだけ愛しているかがすごい熱量で伝わってきます。

読んでいてキュンとします。中盤から後半にかけて、話が一変します。彼女の病気が悪化して、一緒に過ごす時間が減ってしまいます。

後半は物語の視点が日向から萌目線に変わり、萌が日向の事をどう思っていたのかを知れて、そんな工夫もこの本の面白い所です。物語の最大のポイントは、話の中で何度も出てくる「ストロベリームーン」に注目することです。なぜ「ストロベリームーン」なのか、そこを追いかけていくと更に面白くなります。

この本を通して、人との繋がりと1日・1分・1秒の大切さを学びました。甘く切なくそして愛しい物語が好きな人は、ぜひ読んで下さい。



バケモノの子

(著:細田守/角川文庫)

2年2組/畑田航希 (高知県出身)

ぼくは、「バケモノの子」をおすすめします。その理由は、小学校の時に映画を見てすごく感動し、その後本も読んでこのお話のおもしろさに益々ひかれたからです。

母親を亡くした主人公丸太は、叔父の家に行くのを嫌がり家を出してさまよっているうちに、突然見たこともない場所に迷い込んでしまいました。そこはバケモノの世界でした。そこで丸太は、熊徹というバケモノの弟子になり、いろいろな武術とバケモノとの関わり方などを教わります。

バケモノの世界で修行していくうちにいろいろな試練に出会いますが、それを熊徹が厳しく愛情深く教えるうちにお互い助け合う信頼関係が生まれてきます。ぼくは、そんな二人の関係が理想の親子像のように見え、そこに一番感動しました。

このお話を知らなかった人、映画しか見ていない人もこの機会に是非本を読んでみてください。



第41回

わたしのイチオシ!



ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

(著:ブレディみかこ/新潮社)

4年英語/福田民枝 (高知県出身)

「多様性はうんざりするほど大変だし、めんどくさいけど、無知を減らすからいいことなんだ」



この本は、アイルランド人と日本人の両親を持つ「いい子」で優等生な「ぼく」がちょっと変わった「元・底辺中学校」に進学を決めるところから始まる、ノンフィクション物語です。

貧富の差にギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり。英国の、いや世界の縮図のような毎日に悩み、時には知恵熱を出しながら、「ぼく」はパンクな母ちゃん(著者)と乗り越えていきます。

私が好きなシーンは、擦り切れそうな制服で学校に通う友達に中古の服を渡すところなのですが、友達が傷つかないように、かけた言葉が素敵だなと思いました。明德も、色々な国、地域から来た人、それぞれ違うバックグラウンドを持った人が集まったまさに多様性のかたまりのような学校です。みんながそんな優しさを持って生活できたらいいのになと思います。

何度も読みかえて考えたくなる本です。読んでみてください。



サハラに死す 上温湯隆の一生

(著:長尾三郎/講談社)

教員 / 濱田 浩紀さん (高知県出身)

高校時代、人間関係に悩み、不透明な将来の不安に襲われていた頃、狂ったように読んでいたシリーズがありました。それが、「〇〇に死す」シリーズでした。このシリーズは主人公が過酷な条件に挑み、ついには命を落とすことになる話です。そしてこの話は実在する人物のリアルな話です。この本の他に、有名な冒険家植村直己の「マッキンリーに死す」、天才クライマー加藤保男の「エベレストに死す」などがありますが、1番好きなのがこの上温湯隆氏の「サハラに死す」です。この青年は高校を中退して、なんとたった17歳でサハラ砂漠をラクダ1頭で横断しようとしたパイオニアです。アフリカのサハラ砂漠を地図で調べてみてください。アフリカの北西部に位置するサハラ砂漠は広大な面積を占めており、これを東西にラクダを引いて歩いて横断しようとする試みです。その距離なんと7000km。北海道から沖縄までの距離が3300Kmなので約2倍の距離となります。今のように、整備された道も、便利な器具や道具も地図もろくにない50年前の話です。ラクダが逃走したり、盗賊に襲われたりといろいろなトラブルに見舞われます。そして何回か挑み続け、22歳の時に行方不明となりこの世を去ることになりました。

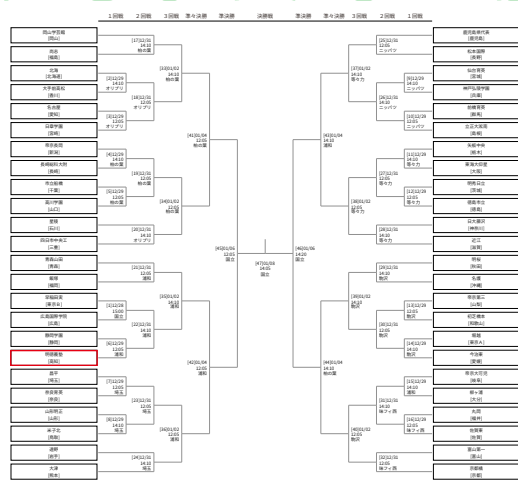
この青年がとった行動は、単に冒険心や何かに挑む気持ちをもった行為であるとは到底思えません。彼は普通の人間です。いや、むしろドロップアウトして何もしないで悶々と家で過ごしていた、今でいうとニートでありました。彼が突如として決断したこの心情は、複雑な青年期に訪れる破壊行動、閉塞感、承認欲求、逃避などの発露であったと思われます。サハラは、それを受け止めるのに十分に過酷であったことは想像できます。私が歩んだその後の人生を考えると、遠回りにですが自分の人生に大きな影響を与えた1冊となりました。



《読書会で紹介された本》

梁先生	「怪物」(坂元裕二著)
	「残穢(ざんえ)」(小野不由美著)
中川先生	「もものかんづめ」(さくらももこ著)
近藤理央(5年中国語)	「ママがもうこの世界にいらなくても」(遠藤和著)
	「あなたが誰かを殺した」(東野圭吾著)
水野瑞希(5年中国語)	「そして、バトンは渡された」(瀬尾まいこ著)
青野樹里(4年中国語)	「収容所(ラーゲリ)から来た遺書」(辺見じゅん著)
福田民枝(4年英語)	「アンネの日記」(アンネ・フランク著)

第102回全国高校サッカー選手権大会出場



第102回全国高校サッカー選手権大会県予選決勝戦が11月11日、春野陸上競技場で行われ、国際高校に4-3で勝利し、3年ぶり9度目の全国大会出場を決めました。

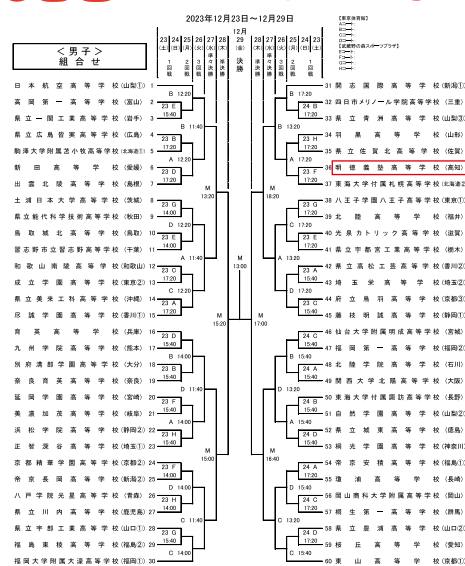
全国大会は、12月28日に開幕し、本校サッカー部は翌日29日12:05から静岡学園（静岡）と対戦します。

吉田凱キャプテン 「1回戦から緊張感を持って臨むことが出来ました。どれも難しい試合でした。優勝した瞬間は、ただただ嬉しかったです。その後いろんな感情がこみあげてきて気づいたら泣き崩れていました。

全国大会では、今までお世話になった人々への感謝の気持ちを忘れず、自分たちのサッカーで最後まで全力で戦うので応援よろしくお願いいたします」



男子バスケットボール部ウインターカップ2023出場



第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会県予選が11月12日、春野体育館で行われ高知中央高校に74-62で勝ち、3年連続15度目の出場を決めました。

ウインターカップ初戦は、12月23日17:20から北海道代表東海大学付属札幌高校と対戦します。



小村宗太朗キャプテン

「高校生で最後の試合なので、みんなでチーム一丸となれるよう声を出し合って練習してきました。全国大会出場が決まった瞬間はホッとしました。ウインターカップでは僕たちより大きな選手、上手い選手はたくさんいると思うけど、持ち前のチーム力で一つでも多く勝ち進めるよう頑張ります」



創立50周年募金 寄付者芳名 (2023年7月~2023年11月) (敬省略)

■法人・個人・団体

上田尚典 寄本修三 宮田忠義 西本紀子 堀尾昭典 伊藤孝子 田中淳一 橋本竜一 檜垣明男 南良平 松田昌子 加村大典 直井小百合 野中正明 山口隆博 リポス株式会社(4期生 大賀康司) 岡山旭交通株式会社 旭交通株式会社・アサヒ化工株式会社(8期生 大賀道明) 有限会社グランドワークス(10期生 穂盛正明) 鳳建設株式会社(14期生 福井秀樹) 株式会社D.Buyer(15期生 白神淳) 株式会社ムロオ(16期生 山下俊一郎 18期生 山下健児) 株式会社ISSEI 有限会社グッドネスフーズ(19期生 浅田一世) 株式会社フード物語(19期生 藤原雄之助) KKRホテル(20期生 齋藤竜也) 松田医薬品株式会社 株式会社岡村文具 株式会社小山商会岡山営業所 株式会社中島工務店 ジャトー株式会社 有限会社共和産業 旭環境スポーツ施設株式会社 株式会社MASAOKA 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三陽荘 株式会社徳島大正銀行 株式会社セネック 有限会社森岡造園 株式会社四国銀行 株式会社ダイキアクシス 高知ケーブルテレビ株式会社 株式会社阿波銀行 株式会社伊予銀行 株式会社愛媛銀行 高知日野自動車株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 有限会社スタジオオカムラ 有限会社細木テント 株式会社龍建設 株式会社アイビス 株式会社岸ノ上工務店 株式会社ケーシービー・アド 四銀総合リース株式会社 高知管公学生服株式会社 とさでん交通株式会社 希フーズ株式会社 有限会社瓢千堂 有限会社ディスカ 有限会社萩の茶屋 株式会社四国建設センター 谷本物流株式会社 エムエスティー保険サービス株式会社 株式会社クワイワ 株式会社伸光堂 有限会社高知楽器 高知トヨタ自動車株式会社須崎支店 株式会社住ケン高知 ニューコウチビル株式会社 有限会社白十字薬品 株式会社ビルサポート 有限会社横山建設 株式会社アクテス 金子生花店 河合歯科医院 武田裕忠公認会計士事務所 森社会保険労務士事務所 吉永塾 のしや本家 明徳関西たんぽぽの会 近畿ブロック後援会

■卒業生

【1期生】政岡照乃 【2期生】大西辰哉 【3期生】白木浩一 【4期生】山地孝英 【5期生】山下真后 【9期生】坂川淳 【10期生】今津俊英 【11期生】花香千夏 浅田 護 【12期生】五百蔵伸一 那須丈洋 【13期生】湊谷功太 大賀基弘 【14期生】田中太郎 【15期生】橋本玲 三輪孔明 【17期生】テンシャンシャン 田川邦彦 【19期生】田辺博樹 【20期生】光本教秀 【22期生】西山公敏 【24期生】北西敏行 小金丸雄祐 西山雅子 中山実香 【26期生】加藤崇史 【27期生】久保田健仁 中山恵里 【29期生】藤森かすみ 【35期生】合田悟 【40期生】川本和清 【41期生】大賀大輝 【42期生】李文婧 【43期生】キムドンジュ 【45期生】パクウォンヨン

■在校生

常盤太陽 黒瀬彰大 南條竜汰 山崎琥太郎 大平翔史 名本惺飛 藤井神気 大平庚真 宮武伊織 村田愛心 宮本佳 羽岡拓哉 岡本隼征 河村一斗 吉田凱 重山晃 川村尚玄 安宅鳳太郎 江川奈那帆